

## 物産展実施状況

前回同様、新型コロナワイルス感染症拡大の影響を受ける中、これまで大きな販売促進施策を担っていた魅力体感促進事業や仙台牛PR事業等もない状況での開催となりました。

しかしながら、外出自粛が一時的に緩んだ時期に重なったことや、長年に渡る開催実績によって顧客獲得ができることが要因となり、来場者数は多くないものの、高い購買率で売上を伸ばすことができました。

### 第25回 宮城県の物産と観光展

■会場／そごう広島店 ■会期／令和3年11月18日～24日 7日間  
■出展者数／31社 ■売上額／37,038千円



### 第57回 宮城県の物産と観光展

■会場／名鉄百貨店本店 ■会期／令和4年1月19日～25日 7日間  
■出展者数／49社 ■売上額／46,971千円

前回は新型コロナワイルス感染症の拡大に伴い、約1年の間中止となつた宮城ふるさとプラザ販売品目選定委員会が、新たな選定委員の下で10月25日に宮城と東京をリモートで繋いで開催されました。

新委員長には宮城学院女子大学大谷尚之教授が、副委員長には元仙台商工会議所コーディネーター遠藤光好氏が就任され、合計6名の新委員で審査を行ないました。

自粛生活が続く中、ご来場されたお客様には、今の宮城を体感いただく時間を少しでもご提供できたのでないかと思います。



### 宮城ふるさとプラザ 販売品目選定委員会

#### 県産品販売促進講演会

令和4年2月16日、県産品販売促進講演会が開催されました。

今回は集会形式での開催はせず、宮城県庁2階講堂からのオンライン配信となりました。

講師には、宮城ふるさとプラザ販売品目選定委員会委員長も務める宮城学院女子大学大谷尚之教授をお招きし、「地域文化とビジネス」『餃子のまち』宇都宮はいかにして生まれたか？」をテーマに講演いただきました。

地域の組合と行政がタッグを組み、ブランドイメージの創成に成功した事例を紹介しながら、地域とビジネスの関係性について話された60分。約70名の参加者からは、画面を通じて興味深く聞き入っている様子が伺えました。

